

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：130015 疾病・障害論ⅡB（各論２） Diseases and Disorders IIB					
担当教員	岩佐和夫、栗田昭英(非)、岡島正樹(非)、加藤寛城(非)、田村昌也(非)、伴登宏行(非)、北村祥貴(非)				
実務経験	病院勤務経験のある教員と現役医師が講師となり、複数で担当している。				
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	60		
Keywords	外科医療、周手術期管理、救急・災害医療、急性重症患者、心血管外科、呼吸器外科、消化器・腹部外科、小児外科、腹部外科、上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患、代謝疾患（糖尿病・脂質異常症等）・内分泌疾患、血液・造血器疾患、アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患				
学習目的・目標	目的： 消化器系疾患、外科系疾患、代謝疾患、内分泌疾患、血液・造血器疾患、アレルギー性疾患・膠原病についての基礎知識を習得することを目的とする。このシリーズでは、外科系疾患を理解する上で必要な解剖の知識を整理し、手術を受ける患者の看護に必要な基礎知識を獲得することも含まれます。 目標： 1). 臓器の正常解剖と生理機能を理解する。 2). 代表的な疾患における病態を理解する。 3). それぞれの疾患について、症状、徴候、検査所見、治療、ケアについて理解する。 4). 外科的処置、手術、麻酔、救命救急、集中治療、災害治療、脳死について理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-3	上部消化器疾患・下部消化器疾患				
4-5	肝胆膵疾患				
6	急性腹症・脳死				
7-9	外科総論				
10	麻酔と術中・術後管理				
11-13	心肺蘇生、集中治療室（ICU）、災害医療、外傷、熱傷、熱中症				
14	心血管外科				
15	呼吸器外科				
16-17	消化器外科				
18	肝胆膵外科				
19	小児外科・移植外科・外科まとめ				
20-22	代謝疾患（メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症など）				
23-24	内分泌疾患（下垂体腫瘍、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患等）				
25-27	血液・造血器疾患（さまざまな貧血、白血病・悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等）、血液検査のみかた（血算・血液像、血液生化学）				
28-30	アレルギー性疾患・膠原病				
教科書	系統看護学講座別巻「臨床外科看護総論」・「臨床外科看護各論」（医学書院） 「看護のための臨床病態学」（南山堂）				
参考図書等	病気がみえる Vol.1「消化器」、Vol.3「糖尿病・代謝・内分泌」、Vol.5「血液」、Vol.6「免疫・膠原病・感染症」（メディックメディア） 看護師・看護学生のためのレビューブック（メディックメディア） なるほどなっとく！解剖生理学（南山堂）、なるほどなっとく！病理学（南山堂） カラー図解 人体の正常構造と機能（日本医事新報社） 看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性（南山堂）				
評価指標	成績評価対象者：出席2/3以上・レポート提出。成績評価：試験結果 100%で評価する。				
関連科目	疾病・障害論I-IIC、解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、看護学の各科目				
教員から学生へのメッセージ	外科的疾患・障害を持つ患者、急性重症患者、そしてさまざまな内科的疾患をもつ患者、それぞれにふさわしい看護を提供するために必須の基礎知識を獲得します。急性重症患者の治療の原則は「先手必勝」です。皆さんの学習も「先手必勝」とするため、予めテキストを読んでおくことが必要条件となります。さらに、講義で学習したことを復習し、繰り返し学習により自分自身のものとしてください。もしも自分や家族が患者になったと仮定して、看護してもらいたいと思うような看護師を目指して学習しましょう。				